

月の観察を課題に出したとたん、くもりや雨の日が多くなりました。観察ができた人はおそらくいないと思います。なかなかうまくいきませんね。とりあえず教科書を見て確認しておきましょう。

第6学年 理科No.9

6年 理科「ヒトや動物の体」

今週は「ヒトや動物の体」です。この学習では、体の臓器の名前がたくさん出てきます。授業の時間だけでは覚えきれないので、先に教科書を見て大体のことを勉強してから、学校が再開したら実験を行って確かめるようにします。

① 食べ物のゆくえ

【めあて】 食べ物の通り道を確認しよう

用意するもの ・教科書 ・筆記用具

教科書の30、31ページを開きましょう。

口から入った食べ物が体のどこを歩いていくのかをまとめましょう。

口 → () → () → ()
→ () → こう門

- ・ 口からこう門までの食べ物の通り道を () という。
- ・ 食べ物にふくまれた養分は () で吸収される。
- ・ 吸収された養分は () にたくわえられる。

【やってみよう】

- ・ 30 ページの「食べ物の変化」の絵を見てください。口のところに指を置いて、食べ物の通り道を指でなぞりながら臓器の名前を言きましょう。
- ・ 1日5回、口から肛門までの食べ物の通り道を声に出して言きましょう。はじめは見ながら言い、覚えてきたら何も見ないで言ってみましょう。

② ヒトや動物と空気

【めあて】 空気を吸ったり、息をはき出したりする流れを確認しよう

用意するもの ・教科書 ・筆記用具

教科書34ページを開いて、空気を吸ったり、吐き出したりするときの流れを確認しましょう。

空気を吸う

口や鼻 → () → () → 全身へ

息をはき出す

全身から → () → () → 口や鼻 → 体外へ

酸素を取り入れ、二酸化炭素を出すことを () という。

空気を吸うのと、息をはき出すのは同じ通り道になっているよ。

【やってみよう】

- ・胸に手をあてながら5回深呼吸をして肺のふくらみを確認しましょう。
- ・QRコードを読み取れる人は35ページの呼吸のしくみを動画で確認しよう。

今週はこれで終わりです。興味がある人は、心臓のはたらきや血管などを教科書で学習したり、動画を見たりしてもいいです。人間の体ってすごいですよ。

おまけコーナー

呼吸にかかせないのが「肺」です。肺がふくらんだり、ちぢんだりすることで、呼吸ができます。しかし肺は自分で、ふくらんだりちぢんだりできません。実は肺の下にある横隔膜（おうかくまく）という筋肉のまくが運動することで肺がふくらみます。

「しゃっくり」がなかなか止まらなくて困ったことはありませんか？あの「しゃっくり」は、横隔膜がけいれんすることで起きます。もし「ヒック！」と、しゃっくりが始まったら、周りの人に「**ごめんなさい、横隔膜がけいれんしています。**」と発言して知的アピールをするのもおすすめです！